

JAPANTEX'98

- ①今日のインテリア空間＝「白い壁と木の床」
日本の住空間の景観はどこも同じ、日本的ではあるが、個性的ではない。21Cに向かって「インテリアも自己表現」ということを認識してもらおう。
- ②③ソフトファニシング＝「布は魔術師」
インテリアも季節や時代感覚に合った変化、つまり気分が大切。手軽に経済的に変化を演出できるのは布…この布を旨く使いこなすのがソフトファニシング。
- ④もっとカラフルに
一進展する日本人の美意識ミニマリズム、ナチュラル感が強いが、思い切って色の魅力の世界に飛び込まない限り、色をマスターすることはできない。もっと色を使って自己表現してみよう。
- ⑤～⑦新しいウィンドトリートメント
既成概念に促われないで、もっと自由に窓辺を演出してみよう。カーテン＝ブリーツ(ヒダを取った) カーテン＝二重吊りではなく、「結ぶ」「たらす」「たくる」「引きずらせる」「ぶら下げる」「引っ掛ける」「投げ掛ける」など、単に吊るための機能レールでなく、トップトリートメントのお洒落としての装飾レール、ドレーバリーフック、なつかしいカーテンロッドなどカーテン本体のファブリクスデザインやテクスチャーに合わせて演出するなど、自由な発想でカーテンやインテリアコーディネーションの楽しみ方を広げるための示唆としたかった。以上のパネル表現そのものには問題があるが、意図したいことは見る人に充分伝わったのではないと思われる。景気が低迷すると直ちに影響を受け、買い控えられるインテリアマーケットの底の浅さを少しでも深く、又巾広くして行くために、「もっとこうした方が楽しくなる、豊かになる、快適になる」方法の提供こそ今、必要なのではないか。

TDA「TEXTILE DESIGN WAVE '98-'99」の会場構成



・TDA主催 プレス説明会

